



▲東大畑地内に整備した、義務教育終了前のお子さんのいる家族が安心して暮らせる「子育て応援住宅」！ 入居者募集中（43ページ参照）

▲毎週木曜日正午からオンエア！（白石81.4MHz、仙台77.1MHz）のDate fmエフエム仙台「白石よござりす」。毎週豪華プレゼントもありますよ

防災対策の充実は、「白石市地域防災計画（改訂版）」に基づき、防災対策を推進し、災害に強い安全・安心なまちづくりを目指します。

また、震度5弱以上の地震が発生した時に、安否確認を迅速に行うための「安否確認フラッグ」や「白石市地域防災計画概要版」の活用啓発に努めるほか、宮城県防災指導員養成講習を活用した各地区での防災指導員の養成、自主防災組織への支援を継続するなど、引き続き地域防災力の向上を図ります。

さらに、平成25年度から5年間をかけて備蓄することにした水と食料とともに、本年度から、背負うこともできる非常用の飲料袋を計画的に備蓄。併せて、自主防災組織が行う「地域備蓄」と、それぞれの各家庭が行う「家庭備蓄」を市民の皆さんに継続してお願いし、いつ発生するか分からない災害に備えます。

蔵王山の噴火を想定した防災への対応は、本市においても、蔵王火山防災協議会における検討や平成27年4月の火口周辺

警報（火口周辺危険）の発表を受け、同年5月に「蔵王山噴火による降灰対応計画」を策定。登山者への注意喚起や市民、観光客の避難計画を定めるとともに、火山灰対策として、子ども用マスクや降灰袋、除灰活動のためのゴーグルを備蓄していますが、今後とも蔵王山の火山活動に注視し、市民や観光客の安全確保に努めます。

環境対策の推進は、「市内一斉クリーン作戦」を継続。また、使用済み小型家電の回収など、環境負荷の少ない循環型社会の構築に向けて、市民と連携して取り組みます。

住環境の整備は、上水道事業として、旧市街地の老朽管更新を加速。また、下水道事業として、田町地内の白石1号雨水幹線工事の平成29年度完成を目指し進めます。さらに、災害復旧事業は、集中復興期間の平成28年度末の完成を目指し、被災施設の復旧を図ります。

都市環境の整備は、「白石沖西堀線」の用地買収が順調に進み、平成28年度は市の玄関口で

ある白石駅から旧国道113号までの一方通行区間の工事に着手。早期の供用開始を目指して事業を進め、市中心部の交通環境の改善を図ります。

加えて、義務教育終了までの子どもを養育する世帯に特化した「子育て応援住宅」を東大畑地内に整備。子育て世帯の住宅確保と将来的な持ち家取得支援を行うことで、定住促進を図ります。

公共交通網の確保は、日常生活の足となる市民バスや乗合タクシーの運行を継続し、引き続き便利で快適なまちを目指します。

さらに、「花と緑のまちづくり事業」は、「城花町しろいし事業」に名称を改め、個人などが管理している庭園などをオープンガーデンとして紹介し、同意を得て公開するとともに、奨励金を交付する制度などを継続して、交流人口の拡大に努めます。

また、昭和31年の建設以来、野球愛好者をはじめ市民に長く親しまれ利用されている益岡公園野球場は、老朽化に伴い本年度から「公園施設長寿命化対策支援事業」で改修工事に着手。花に彩られた野球場にリニューアルし、スポーツ環境の充実と各種大会などの開催による交流人口の拡大に努めます。

Target5 美しい自然を受け継ぎ 安全で快適に過ごせるまち

産業の活性化は、ふるさと納税で応援いただいた寄付金を活用し、子育て支援や歴史のまちづくり、観光振興などを促進。また、「メードイン白石」を全国に広めるため、地元特産品を返礼品として活用し、産業の活性化につなげます。

定住化の促進は、市内住宅を取得された方への「白石市定住者補助金事業」や「白石市民住宅取得補助金事業」、新婚家庭への「白石市新婚家庭家賃補助金事業」を継続。また、空家等対策のため、市内全域調査を実施するとともに、「空家等対策計画」を策定し、適切な管理の促進、有効活用に向けた対策を進め、定住化や地域の活性化につなげます。

産業の振興や雇用の確保を図る企業誘致は、「白石インター工業団地」に本社工場を移転新築した「セコム工業株式会社」が、物流部門の拠点施設整備を目的とし、平成27年11月、白石市土地開発公社が造成した同工業団地約1・7ヘクタールを新たに取得。今後、関係機関と緊

密な連携の下に円滑な事業開始に向けた支援に努めます。

また、「白石市企業立地促進条例」は、本年3月で失効するため、有効期限を5年間延長し、本市へのさらなる企業立地の促進と雇用の拡大を図ります。

中心市街地の活性化は、地元商店組合などが行う中心商店街活性化に各種助成事業などを活用し、商工会議所との連携を図りながら賑わいを創出します。

創業支援は、「白石市創業支援事業計画」に基づき、空き店舗等対策として「空き店舗等対策事業補助金」を創設。商工会議所や関係機関との緊密な連携の下、創業の支援に努めます。

農林業の振興は、T P P交渉の閣僚会合での大筋合意で、大きな影響があると予測されます。国や県に対し、対策を要望するとともに、「農地中間管理事業」を活用した農地集積を推進し、生産現場の強化と耕作放棄地の発生防止に努めます。

また、有害鳥獣対策は、特に「イノシシ」による農林作物への被害が大きいことから、引き

続き個体数の調整に努め、「有害鳥獣解体場」を有効活用し、処理負担を軽減。電気柵などによる被害防止対策も継続し、農業経営の安定に努めます。

交流人口の拡大は、「ファイルコミッション事業」や「広報ラジオ番組による情報発信事業」を継続。また、観光協会や温泉旅館組合、J Rなどの関係団体と連携強化を図ります。「まるごとうーめんまつり」や「鎌先・小原温泉共通湯めぐり手形」などに加え、J Rをはじめ、旅行業者の企画商品を活用。さらなる観光客の拡大に努めます。

また、本年1月からNHK大河ドラマ「真田丸」の放送がスタート。観光客の受け入れ態勢整備の一環として、平成27年、白石城のA Rや観光関連のウェブサイトの運用を開始するとともに、観光関連のウェブサイトが多言語化、無料Wi F i s ポットの整備を行いました。

さらに、「白石城さくらまつり」「全日本こけしコンクール」「白石市民春まつり」「白石夏まつり」「しろいし蔵王高原マラソン大会」「鬼小十郎まつり」「農業祭」など、四季折々のイベントを市民の皆さんとともに盛り上げ、白石の魅力を発信するとともに、交流人口の拡大を図ります。

Target4 産業の活力を生む 新しい価値を創造し続けるまち